



大空まどかに

旭川東高PTAだより 第9号



「シマレガンバレ」
北海道旭川東高等学校標語

発行日：平成27年10月5日
発行：北海道旭川東高等学校 PTA
編集：PTA 広報委員会

交通整理の先生方

東高祭恒例の仮装行列が、7月3日に行われました。連日早朝から夜遅くまで準備をした、色とりどりの衣装と趣向をこらした山車が、治道の人々の目を楽しませていました。



さて、21ものクラスが山車を担ぎ、安全に行列できるのは、一緒に仮装をして歩く担任の先生や、各ポイントで交通整理をしてくださる先生方のおかげです。

特に出発地点の太田先生・富田先生は、信号機のタイミングをはかり各クラスをスタートさせながら、保護者が車道に出ないように、点字ブロックをふさがないようにと安全を見守ってくださいました。



また、今年は交通整理の先生方も仮装で登場。行列を楽しむ保育園児も大喜びでした。暑いなか先生方お疲れさまでした。

東高祭

様々な取り組みが行われる学校祭。

今回は表舞台を支える子どもたち、先生方そして保護者の皆さんの活動を紹介します。

仮装行列、クラス展示の審査

毎年恒例の仮装行列とクラス展示の順位は一般公開終了後に発表されます。生徒達の精一杯の頑張りが見え、クラスが団結し喜びあえる熱い瞬間です。しかし、審査についての詳細は公表されていなかったため、審査員やその方法を取材しました。

審査は教職員4名、一般の方3名、PTA3名に委嘱されています。教職員の皆さんは仮装行列とクラス展示の両方を審査しますが、公平を期すために担任・副担任のクラスを持たない先生にお願いしています。一般の方3名は仮装行列、PTA3名はクラス展示の審査を行います。

一般の方は買い物公園の商店主で、基本的には毎年同じ方ですが、誰が審査員かは伏せてあります。仮装行列・クラス展示それぞれ7名の審査員の点数のうち最高点と最低点をカットし、5名の合計点がそのクラスの点数となり順位が決定されます。

ファストパスを首にかけ21クラスもの審査をし終えた村井会長に感想をお聞きしました。

『案内役や教室内での役作りも素晴らしかったし、廊下側まで工夫した展示にも驚きました。どのクラスもお客さんへの対応や待つ人への心配りが感じられ、それも学年を追うごとにレベルアップしているのがはつきりとわかりました。3年生は受験生ですが、学校祭にける努力に感動しました。これで部活も学校祭も終わり、いよいよ受験だった中に進む最後の決断というか、これから更にやるんだぞ!との思いが感じられました。』



子ども達の裏方

★7月3日 開祭式・出発式★

「COCONUT」のテーマに負けないくらいに熱く盛り上がっている暗闇の体育館。ステージではスポットライトを浴びて、持ち時間2分でクラス展示をアピールするパフォーマーダンスが行われていましたが、丁度向かい側にステージをライトで照らす生徒の姿。その隣には、タイマーで2分を計っている生徒も…。ライトがあたるからこそ映えるパフォーマーダンスと容赦なく響くブザーの音。盛り上がっている生徒たちの中で、冷静にその役目を果たしている生徒の姿がありました。

★7月5日 中庭ステージ★

中庭の観客席に座ったら、このブチブチ(エアパッキン)は何? 汚れ防止? 雨天時のため? この日の天気予報は晴れ。少しでも暑さが和らぐように、執行部みんなで朝から作業してくれたそうです。

細やかな心遣い、ありがとうございます。

★後夜祭★

閉祭式での盛り上がりそのままに、暗闇の体育館は熱気であふれていました。カラオケ決勝戦ダンス同好会のパフォーマーダンスと進む中、やはりいました。ステージをスポットライトで照らす生徒の姿が…。皆と一緒に大騒ぎしたい気持ちを抑えながら(??)、ここでも冷静に自分の役割を果たしていました。

大勢の前でパフォーマーダンスする生徒もいれば、裏方に徹する生徒もいる。

一人ひとりが自分の役割を果たしたからこそ成功へ繋がった東高祭でした。



定時制からの風

定時制の学校祭での取り組みを紹介します。昨年度まで、2日日程で行っていましたが、今年度は1日日程での実施となりました。仕事をしている定時制生徒にとって、土日の忙しい時に休みを取ることは難しいため、日程を短縮しての実施しました。

今年度は、恒例の書道展示に加え、生徒会企画として「喫茶」を企画・運営しました。PTAで行っている「TonCafe」との競合に少々心配な点がありましたが、生徒の手作りマドレーヌとジュースの販売をしました。当日は、生徒会執行部の生徒を中心に、呼び込み等も行い、昼過ぎには完売となりました。



マドレーヌの仕込み



書道作品

学校祭日程は短縮しましたが、内容の充実した学校祭になったと思っています。3年生の生徒会執行部は、来年は何を売ろうか、今から考えているようですので、来年度も楽しみです。

定時制の様子については、学校ホームページにも掲載していますのでぜひアクセスして、ご覧ください。



いらっしやいませ～

生活委員会が主催する東高PTA喫茶が、今年も3階講義室にて学校祭期間中の2日間開催されました。

よりカフェらしいカフェを目指し、メニューを充実させた今年の店内は、ナチュラルな素材とグリーンをあしらいい、黒板までもが素敵なインテリアになりました。生活委員の皆さんお手製のPOPや飾りで、殺風景な教室が見違えるほど本格的なカフェへと変貌を上げました。メニューは、昨年のご要望を反映し、ホットコーヒーが復活。また新製品ケーキ2種や「トンドラ抹茶味」も仲間入りし、満足度もアップしました。



『楽しく、美味しく、良い喫茶店にしましょう!! 委員会メンバーが楽しんでやれば、お客様も楽しめます!!』生活委員長のかけ声通りの居心地の良い空間でした。

今年の学校祭は、同日程での開催校が少なく、高校生や一般の方、未来の東高生の来店もあり、たくさんの方に利用して頂きました。PTA、OB・OGの方にも来店いただき、激励や受験の心得えなど有意義な話らしいの場となり賑わっていました。

密着!!
カフェが
出来るまで



★前日準備★ 会場レイアウト・デコレーション
「トンドラ」箱詰め、
熨斗がけまで素晴らしいチームワーク



「玄関から最も遠い端の場所にもかかわらず探してきてくれることが嬉しいんです。」とスタッフの方。

ポスター貼に技あり☆

「初めての東高学校祭で休憩場所を探していてポスターが目に入り赤い矢印に導かれて来ました。カフェまでの誘導が上手ですね戸迷うことなく到着することが出来ました。」（一般来校者談）



★事前打ち合わせ★ 活発な意見交換

PTA名物
トンドラ

校章焼印がトンドラマークの2年目のトンドラ。抹茶味も加わり、昨年の2倍合計800個を用意。さらに



4個入り・6個入りの箱入が新登場。前日に委員の皆さんの手で箱詰めされ、素敵な熨斗をかけて完成。お土産に！記念に！「昨年食べて美味しかった！」リピーターの方も多数いらつしました。なんと今年も早々に両日完売。残念ながら手にできなかったお客様もいらつしたそうです。

来年はさらに個数を増やして販売予定とのことです。（生活委員長談）
来年も楽しみですね。

生活委員さんのチームワーク・手際の良さとセンスに脱帽です。大盛況の2日間大変お疲れ様でした。（広報部スタッフ）



生活委員会 田邊委員長

教養委員会の活動

今年の教養委員会の目標は、「様々な学習や体験の機会を持ち、互いに学び合い豊かな教養を身に着け、子らの模範となる生き方を追求していく。」としております。

7月24日にJAAアロマインストラクターの廣田美登里さんを講師に迎え、本年第一回目となるアロマテラピー講座を開催致しました。私自身、14年前にスキー事故で大怪我をして4ヶ月の入院生活を余儀なくされましたが、2回目の入院時に院内にアロマの気配りがあり、心も体も非常に癒され救われた経験を持つております。

今回のアロマ講座には村井会長様はじめ48名の参加があり、フレグランススプレーのほかにハンドクリーム・重曹クレンジング・台所除菌スプレーを作り、皆さん嬉々として岐路につきました。

また、昨年に引き続き、生活委員会との共催で「高校生活・受験を支える父母の情報共有のタベ」が8月28日に行われました。PTA、OB・OGの方々、卒業生にもお越しいただき、大変参考になるお話をうかがいました。後半は、高校生活の過ごし方、志望校の決定や受験期の支え方、大学生活や就職のことなど、テーマ別のグループに分かれて懇談を行い、OB・OGの方々の豊かな経験を共有できる内容でした。



参加しました！ 簡単アロマテラピー体験講座

アロマインストラクター廣田美登里さんの講義では、自分で精油の香りを試してみたい「いいな」と感じるものが身体が求めている香り、直感が大切だということ、また、一般的に効果がよく知られているラベンダーなどの香りでも、場合によっては逆効果になることがあり、体調に合わせての使い方が必要だということ学びました。次に、「一人ひとりが実際にアロマスプレーを作成。」「リフレッシュ」「リラックス」「頭すっきり」など5種類のテーマがある香りのブレンドから好みのものを選びました。スプレーの後には、申し込み時にハンドクリーム・重曹クレンジング・台所殺菌スプレーの中から一つ選んでおいたアロマクラフトを作った。実際に香り確かめ、スプレーなどを作ってみて、これまでちょっと難しそう、香りの組み合わせを失敗したら大変そう、と考えていた手作りのアロマ製品が、実はとてもシンプルなものできていて、オリジナルのブレンドも気軽に挑戦できると分かりました。

アロマスプレーは、住まいのいろいろなところに使えるので、家族の体調や目的に合わせて、香りのアクセントを取り入れていきたいですね。



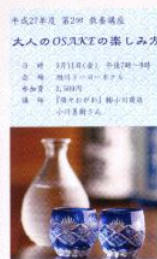
今年度の教養委員会の活動について

杉山委員長にお話を伺いました。

二回目の講座は9月11日に「大人のOSAKEの楽しみ方」と題し、日本酒についての講座を開催。講師に「酒々おがわ」の小川勇樹様ご夫妻をお迎えし、ビギナーの方でも楽しめる内容となりました（共催講座とともに、本誌次号に掲載予定です。お楽しみに）。三回目の講座は、10月23日に開催予定です。市内で15年前から活動しているクワイヤ「Crystal Voice」による音楽系の講座「あなたのココロを元気にします」ゴスペル ライブ&ミニ体験」は参加料無料、場所は東高体育館です。「ゴスペルってどんな音楽？」「歌うのはちょっと」という方も充分楽しめる内容です。ぜひご参加ください。3講座プラス共催講座とともに教養委員会のメンバーの力を結集してより魅力的な講座になるよう準備を進めております。



今後各種講座やPTA活動にご理解ご協力くださいますよう宜しくお願い致します。



高校生活・受験を支える

父母の情報共有のタベ

今回で第二回目となる、生活委員会・教養委員会とのコラボ企画「高校生活・受験を支える父母の情報共有のタベ」が8月28日開催されました。



お集り頂いたOB・OG皆さんから多くの体験談やアドバイス頂きました。

一部では全体懇談、一部では各グループに分かれてフリートーク。

次号のPTAだよりで詳しくご紹介いたします。

旭東大ビールパーティー

（旭川東高等学校PTA全体懇親会）

今回PTA行事としての初めての試み「旭東大ビールパーティー（旭川東高等学校PTA全体懇親会）」が8月7日（金）午後7時から行われました。



PTA、OB・OGの皆様、保護者と先生方と楽しい語らいの場となりました。「お楽しみ抽選会」では会場は大盛り上がり！詳しくはPTAだより10号をお楽しみに！

予告編！！

高P連 広報担当者の集い

広報委員 林元友理枝

6月23日に高P連旭川支部主催の「広報担当者の集い」が開催されました。毎年各校の広報担当者を集め、より良い広報誌が作れるようにいろいろな講師の方をお招きして、講座が開かれます。

今年度は、(株)北日本広告社旭川支社のコピーライター・プランナーの向峯一郎氏を講師に、「もっといきいき！広報誌に新しい魅力を」の講義を受けました。平成24年4月から一年間、旭川市の広報誌「あさひばし」の編集長として制作作業に携わった経験をもとに、事前にきちんとスケジュールを組み、取材後はすぐにメモをまとめ頭の中で整理をしていく等、広報誌を作るうえでのポイントを分かりやすくお話していただきました。講義の後は、参加した10校48名が8グループに分かれ、各校持ち寄った広報誌を拝見させていただきながら、情報交換・交流となりました。担当者ならではの自慢話や苦労話がありましたが、広報誌が完成した時の達成感はひとしおだという意見は皆さん共通の思いで、学校や内容は違っても、皆に喜んでもらえる広報誌を作りたいという気持ちは同じなんだと思いました。また、それぞれ学校によって特色があり、レイアウトの仕方や取材の対象となる人や物など、今後の広報誌作りに役立つことばかりでした。

今回参加して、広報誌はPTA会員の皆さんに活動の様子を伝えるのはもちろんですが、学校をより身近に感じてもらえる存在であるのではないかと思います。これからも多くの方々がPTA活動に興味を持ち、参加していただけるような広報誌を作っていきたいと思います。



保護者進路座談会

3学年委員長 山下 総司



第3学年委員会の今年度一つの行事として、「PTA進路座談会」を7月17日(金曜日)に旭川勤労者福祉総合センター大会議室で開催しました。当日の参加者は保護者が77名、更に担任の先生7名を含む総勢12名の先生方に参加いただきました。

各クラス7～9人のテーブルに分かれて、食事や自己紹介をした後、松井進路指導部長に事前に保護者から寄せられた進路に関する質問事項にお答えいただきました。中には「インフルエンザの予防接種時期は？」とか、「夜食のおすすめレシピは？」など、指導部長の専門外の質問もありましたが、いろいろ調べて回答いただきました。お疲れ様でした。また、既に大学受験を経験されている保護者の方も1割程度おり、各クラスでの話も盛り上がっていました。皆さん貴重な情報やアドバイスを得られたのではないのでしょうか。

1年生の時から考えてきた目標に向けて、泣いても笑ってもあと約半年。私たちも子供たちと一緒に、そして先生方や保護者同士で情報を共有しながら頑張りましょう！「受験は団体戦」です！！



PTA 活動紹介

高P連 全道大会

副会長 小倉美枝子

「ご飯にしよう！」この言葉で講演を締めくくったのは、南極料理人西村淳氏。昭和基地から1000Km離れた「ドームふじ基地」は平均気温-57℃、ウィルスも存在しない過酷な地。そんな極寒の地での奇想天外な越冬体験談にくぎ付けになりました。南極越冬隊員の最重要使命は、全員が無事に生きて帰ること！食の提供は毎日続く地味な作業ですが、これがなければ生き延びることはできません。そればかりか、美味しいご飯は、過酷な地での心の摩擦をも救ってくれたそうです。奇しくも、大会数日前に砂川で起きた高校生ひき逃げ事故の黙祷から始まった開会式、命の大切さを改めて再確認した全体会でした。

北見 北斗・

北見柏陽高校で行われた2日目の分科会では、様々な高校の取り組みを聞く中、東高のPTA活動が大変充実していることを実感し、ご協力いただいている先生方・保護者の皆様に感謝しつつ、ハッカとオホーツクの潮風が爽やかな北見の街を後にしました。



高P連 全国大会

本部役員会計 石原ひろみ

8月20・21日に「未来図からの風をつかめ！」をメインテーマに、全国高等学校PTA連合会大会岩手大会が開催されました。「未来図からの風」という言葉は、岩手出身・宮沢賢治の詩から。基調講演・記念講演も岩手県出身の講師が招聘され、地域の力を活かし焦点を絞った内容の大会でした。

基調講演講師は芝浦工大学長の村上雅人氏。「夢高くして足地にあり The sky is the limit」というテーマで、教育は国の存亡に関わるということ、今もてはやされている「社会に出てすぐ役立つ知識」は程なく陳腐化するもので、基礎こそ大切だということ、学生の学びの心に火をつけることが教育者の役目ということなど、芯の通った素晴らしいお話でした。また、科学者として、科学で解決できないことはたくさんあり、それを謙虚に受け止めつつ決してあきらめないこと、常識は破られるためにあるという姿勢を次代へ受け継いでほしいという、研究者ならではの視点を感じました。

翌日の分科会では、全国のPTA活動の取り組み発表・防災教育・復興教育についてなど、それぞれ質疑応答も活発に交わされ、非常に中身が濃い大会となりました。



編集後記

旭川東高PTAだよりは、昨年皆様から応募頂いた『大空まどかに』をタイトルに新しいスタートをきりました。役員・委員の皆さんはもとより、保護者の皆さん先生方と皆で作る広報誌を目指しています。ぜひ皆さん、ご意見・ご感想をお待ちしております。PTA行事には必ず広報委員がいます。お気軽にお声をかけてください。今後とも各種PTA活動への参加、そして旭川東高PTAだよりを宜しく願っています。